

癌に対する免疫力の増強に関する研究

グループ紹介

研究代表者：原田 守(医学部・教授)
原嶋奈々江(医学部・助教)

概要

私たちの体には、細菌やウイルスなどの感染症を生じる病原体に対して抵抗できる免疫力が備わっています。この免疫力は、病原体を排除するだけでなく、癌の発生や転移を監視して押さえ込んでいると考えられています。私たちの研究室では、癌に対する免疫力を増強する研究に二つの方向性から取り組んでいます。

特色研究成果今後の展望

私たちは、癌に対する免疫力を増強する治療法の研究に長年取り組んできました。癌細胞だけが持っている目印(癌抗原)を同定して、それに対する免疫力を増強することによって癌を治療する研究を行ってきました。その研究成果は、癌患者に対する癌ワクチン療法として臨床の場で応用されています。一方で、高齢の癌患者の場合、強力な治療法は患者にとって不利益になることがあります。高齢の患者に対しては、強い副作用を伴う強力な治療法よりも負荷の少ない治療法が適している場合があります。特に、高齢者の多い地域での癌治療では、そのような治療法も選択肢として提供されるべきだと考えられます。私たちは、最新で強力な癌免疫療法の研究に取り組むとともに、患者への負荷の少ない方法で免疫力全般を底上げすることにより、癌細胞を増殖させず転移もさせない状態を保つことを目的とした治療法(いわば、癌と共存して天寿を全うできるようにする治療法)の研究にも取り組む予定です。

